

受験番号	
------	--

※記入しない※

【解答欄】

I.

次の問いに答えよ。

(1) 次のア, イは, それぞれある規則性をもった数の列である。

空欄①~⑧に適する数を入れよ。

ア 19, 【 ① 】, 57, 【 ② 】, 95, 【 ③ 】, 【 ④ 】, 152, …

イ 1, 1, 2, 【 ⑤ 】, 5, 【 ⑥ 】, 13, 【 ⑦ 】, 34, 【 ⑧ 】, …

(2) ヒト1人の血液量は, 体重の約  $\frac{1}{13}$  といわれる。

体重 48 kgの人の血液量はおよそ何リットル(L)か。

ただし, 小数第3位を四捨五入すること。また, 血液 1 Lの重さは約 1 kgとする。

(3) 次のような変数  $x, y$  のデータがある。

$x$	7	4	8	4	5	10	9	2	2	7
$y$	7	8	9	4	10	1	6	5	2	3

これについて,

① 散布図をかけ。最初のデータ ( $x=7, y=7$ ) を例に, ● (黒丸) で示すこと。

②  $x, y$  の間に相関関係があるかどうかを調べ, 解答欄の相関関係がない, 正の相関関係がある, 負の相関関係があるのいずれかを○で囲め。

(4)  $(-\frac{3}{2})^3 \div (-\frac{9}{7}) \times (-\frac{2}{7})$  を計算せよ。

(5) 次の計算をせよ。

$$(\sqrt{2} + \sqrt{5} - \sqrt{7})(\sqrt{2} + \sqrt{5} + \sqrt{7})$$

I.

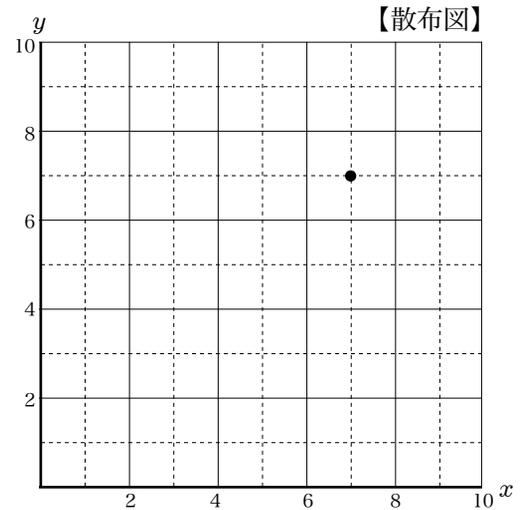
(1)

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

(2)

リットル
------

(3)①



② 相関関係がない	正の相関関係がある	負の相関関係がある
-----------	-----------	-----------

(4)
-----

(5)
-----

**2.**

①  $(2x + 1)(x + 3)$  を展開せよ。

②  $(a - b + 5)(a - b + 8) - 10$  を因数分解せよ。

③ 方程式  $3x^2 + 7x - 2 = 0$  を解け。

④ 2次方程式  $3x^2 - mx + m = 0$  が重解をもつような定数  $m$  の値を求めよ。

⑤ 連立方程式  $\begin{cases} 3x + 2y = 5 \\ 4x - 3y = 18 \end{cases}$  を解け。

**3.**

$U = \{n \mid 1 \leq n \leq 10, n \text{ は自然数}\}$  を全体集合とする。

$U$  の部分集合  $A, B$  について、

$A = \{1, 3, 6, 7, 8\}, B = \{1, 4, 6, 8\}$  のとき

(1), (2) に示す集合を求めよ。なお、 $\bar{A}$  は  $A$  の補集合を表す。

(1)  $A \cap B$

(2)  $\bar{A} \cap \bar{B}$

【解答欄】

**2.**

①

②

③  $x =$

④  $m =$

⑤  $x =$  ,  $y =$

**3.**

①

(1) { }

(2) { }

4.

$-2 \leq x \leq 1$  のとき、 $y = -(x^2 + 2x)^2 + 4(x^2 + 2x)$  の最大値と最小値を求めたい。点線枠の空欄ア～タに適する数式を右の【選択群】から選び、記入せよ。なお、同じ数式を何度使ってもよい。また、図⑤、⑦のグラフを完成させよ。

【解き方】

$$y = -(x^2 + 2x)^2 + 4(x^2 + 2x) \cdots ①$$

$x^2 + 2x = t \cdots ②$  とおくと、①は次のように表せる。

$$y = \boxed{\text{ア}} \cdots ③$$

$$\text{一方, } t = x^2 + 2x = \left(x + \boxed{\text{イ}}\right)^2 - 1 \cdots ④$$

$t$  を  $x$  の関数とみると、 $-2 \leq x \leq 1$  だから、グラフは右図⑤のようになる。

このグラフから、 $t$  の変域は  $\boxed{\text{ウ}} \leq t \leq \boxed{\text{エ}} \cdots ⑥$

③から  $y = \boxed{\text{ア}} = -\left(t - \boxed{\text{オ}}\right)^2 + \boxed{\text{カ}}$

⑥の変域における③のグラフは、右下図⑦のようになる。

このとき、 $y$  は

$t = \boxed{\text{キ}}$  のとき、最大値  $\boxed{\text{ク}}$  をとる。

$t = \boxed{\text{ケ}}$  のとき、最小値  $\boxed{\text{コ}}$  をとる。

したがって  $t = \boxed{\text{キ}}$  のとき、②から

$$x^2 + 2x = \boxed{\text{サ}}$$

これを解くと、 $x = \boxed{\text{シ}}$

$-2 \leq x \leq 1$  だから、 $x = \boxed{\text{ス}}$  は適さない。

したがって、 $x = \boxed{\text{セ}} \cdots ⑧$

また  $t = \boxed{\text{ケ}}$  のとき、②から

$$x^2 + 2x = \boxed{\text{ソ}}$$

これを解くと、 $x = \boxed{\text{タ}}$

以上⑧、⑨から、

$x = \boxed{\text{セ}}$  のとき、最大値  $\boxed{\text{ク}}$

$x = \boxed{\text{タ}}$  のとき、最小値  $\boxed{\text{コ}}$  をとる。

【解答は点線枠ア～タに記入すること】

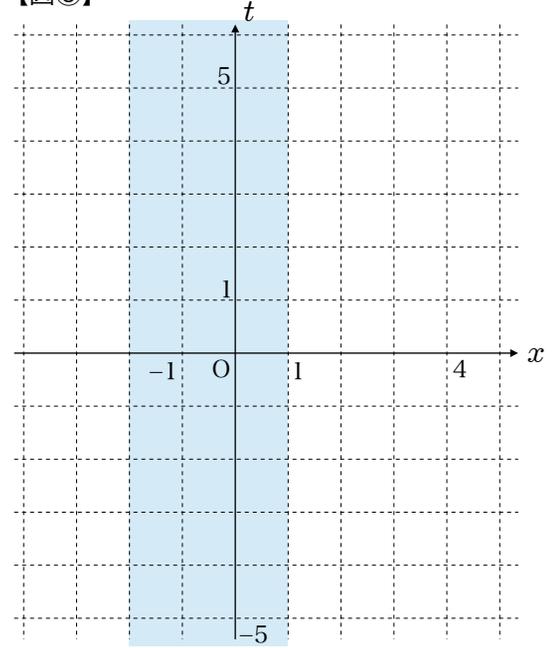
また図⑤、図⑦のグラフも完成させること。

【選択群】

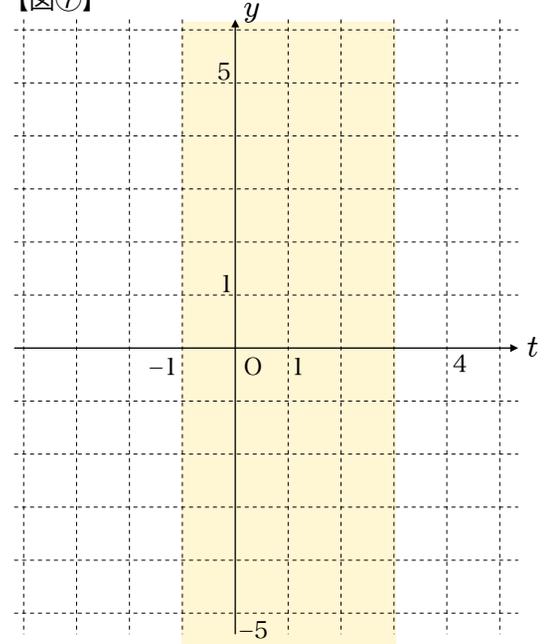
$-5, -4, -2, -1, 1, 2, 3, 4, 5,$

$-1 - \sqrt{3}, -1 + \sqrt{3}, -1 \pm \sqrt{3}, -t^2 + 4t$

【図⑤】



【図⑦】



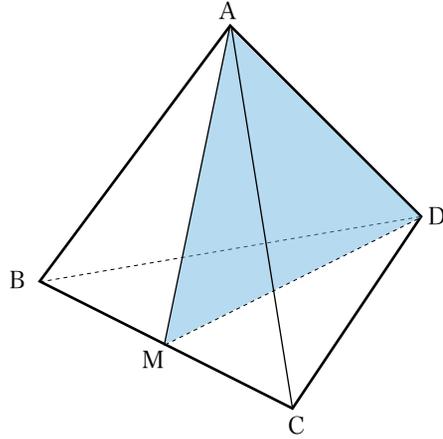
**5.**

(1) 次の値を求めよ。

$$\sin 120^\circ \cos 45^\circ + \cos 135^\circ \sin 30^\circ$$

(2) 1辺の長さが2である正四面体ABCDがある。  
辺BCの中点をM,  $\angle AMD = \theta$ として, 次の問いに答えよ。

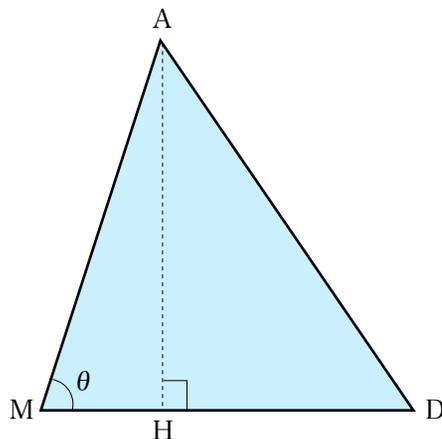
① 線分AMの長さを求めよ。



②  $\cos \theta$ の値を求めよ。

③  $\triangle AMD$ の面積を求めよ。

④ 頂点Aから線分DMにおろした垂線AHの長さを求めよ。



【解答欄】

**5.**

(1)

(2)

① AM=
② $\cos \theta =$
③ $\triangle AMD =$
④ AH=

## 2025年度 第43期生 後期入学試験問題

(国語)

泉州看護専門学校

【一】次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

【池井戸潤「俺たちの箱根駅伝」より】

雰囲気は、どこかぎこちなかった。

十二月二十四日から四泊五日のスケジュールで始まった学生連合チーム、最後の合宿だ。最終調整の場であるはずだが、四日目となるこの日は何かが違っていた。

質量の大きな何かがチームメイトたちにのしかかり、どこかにあったはずの自信も余裕も、箱根駅伝という魔法の力で消し去られてしまったかのようだ。

実は、これにはきっかけがある。

昨日の晩、大日テレビが放送した箱根駅伝の特別番組を、チーム全員がラウンジで観ていた。

そこで平川庄介監督率いる東西大学チームの出陣式の様子が紹介されたのだ。

百名を超える選手を抱える大所帯。そして、過去に何度も箱根駅伝を制した名門チームには、それに相応しいタスキが存在する。

その番組の中で、部員たちやOB、関係者の前でうやうやしく掲げられた東西大学伝統のタスキは、まぶしいまでに輝き、見るからに重みがあった。

「なんか、すげえな」

いつもは陽気な丈が、<sup>①</sup>気圧された表情を浮かべていた。

ひとつのチームとしての伝統と経験。その中を連続と受け継がれ、幾度もの総合優勝を経てきた栄光のタスキ――。

それは、この学生連合チームには存在しないものである。

どう努力しても、絶対に手に入らないものだ。

掲げられたタスキの前で東西大学の選手たちが感極まり、涙し、必勝を誓う。その様は、それだけで学生連合チームを畏怖させ、委縮させるに十分であった。

格の違いをまざまざと見せつけられた気がする。

東西大の勝利への執念は、勝たなければならない宿命にも似て、<sup>②</sup>強靱な精神世界を形成している。他の競合するチームも同じだろう。

それにひきかえ――。

「俺ら、なんもないなあ」

弾が、いつもの関西弁でいった。少々冗談めかしたように聞こえるが、笑う者はいない。

笑いの代わりに鉛を呑んだような沈黙が狭まり、底の見えない不安の風が、ボールのようにチームの上に落ちてきたのである。

そしていま――。

準斗はちらりと、グラウンドで練習を見つめる甲斐の方を見やった。

甲斐は、チーム内に起きているこの<sup>③</sup>化学反応をどう思っているだろうか。いや、そもそも気づいているだろうか。

――メンタルが七割。

先日、甲斐がいった言葉が真実なら、戦う前から気後れしているこのチームはすでに負けたも同然だ。

「今日、十八時からミーティングやります。予定にはありませんが、全員必ず出てください。外に走りに出る方も必ず戻るようにしてください」

そんなことを計図が全員に告げたのは、昼の食事中的ことである。

セミナールームに行くと、計図がすでに来て待っていた。

「計図さん、ついに区間エントリー、発表するんすか」

不安そうに弾が尋ねたが、「どうなのかな」と計図は首を傾げてみせる。

弾は準斗にも問うような眼差しを向けてきたが、実は準斗にもわからなかった。

通常であればミーティング内容について甲斐から事前に知られるところだが、これについては事前の説明を受けていない。

「本選の作戦とか、そういうことについてのレクチャーじゃないかな」

準斗はいった。合宿はまだ一日残っているからだ。実際、甲斐は他校の選手の競技データをはじめ様々な情報を収集している。計図がリサーチャーとなって集めた情報は、誰がどの区間走者になるか、どんな走り方をするのかといった、具体的な戦略を決める要素になる

はずだ。

「別に怖じ気づくとかじゃないですけど、本選に出ることに違和感、ありませんか」  
圭介が胸中の思いを口にした。

何人かがうなづく。

「昨日の番組とかさ、見なきゃよかったよな」と拓。

「いや、見て正解だったんじゃないね」

異論を口にしたのは、浩太だ。「もし見てなかったら、あの連中のノリを現場で知ることになる。たまったもんじゃないよ。圧倒されて心の準備もできないまま走ったらどうなる」

「負けるよな、そりゃ」

周人が自虐的にいった。「総合三位以上どころじゃない。いい笑いもんだ」

誰もが青ざめ、押し黙った。

隼斗が腕組みして目を閉じたとき、セミナールームのドアが開く音がした。

入室した甲斐は全員の集合を確認し、

「じゃあ行こう」

そうひと言告げ、部屋を出て行く。

「行ってくて、どこへ？ ミーティングは？」

弾がきよんとんとして周りを見たが、知る者は誰もいない。

「移動、お願いします」

計図が声を上げ、怪訝な表情を浮かべたまま、チーム全員が甲斐の後を追って部屋の外に出た。

セミナールームのある東邦経済大学寮の一階から、連絡通路に出る。甲斐はその連絡通路を、足早にどんどん進んでいった。

冬休みに入った、午後六時過ぎだ。

体育館への連絡通路は屋根だけで、十二月の寒風が真横から吹き付けてくる。あたりは暗く、さっきまで隼斗たちが練習していたグラウンドはどうに消灯され、常夜灯だけがぼつぼつと点灯していた。

グラウンドを囲むネットの向こう、空の低いところに細い月が浮かんでいる。

いまの学生連合チームを体現しているような、頼りなげで、どこか淋しげな月だ。

通路の突き当たりに、すでに消灯された体育館が見えた。

あたりは静かで、電車のレールを打つ音が遠くから聞こえてくる。体育館の入り口の前まで来たとき、一瞬立ち止まり、甲斐が振り返った。

そのままドアを引き開け、中に入っていく。隼斗たちもそれに続いた。

「真っ暗じゃん」

背後で誰かがいうのを、隼斗は聞いた。

だが、

「電気ぐらい——」

その後の言葉は、聞き取ることができなかった。

突如、皎々たる明かりが点灯したかと思うや、空気を割らんばかりの大歓声が、上がったからである。

——まさか！

言葉をなくし、隼斗はその場で立ち尽くした。

隼斗だけではない、チームの誰もが啞然とし、棒杭のように立ち尽くし、或いは呆けたように口をぽかんと開けたまま動けなくなっている。

信じられなかった。

いったい、いつの間に——。

館内を埋めていたのは、大勢の学生たちだった。学生連合チームに選手を出している十六大学の陸上競技部の部員たちだ。甲斐の仕組んだサプライズだと悟ったときには、全員が感動と驚きで言葉を失っていた。

「——隼斗、隼斗！」

声を張り上げているのは、明誠学院大学の仲間たちだ。

海が割れるように人垣が開き、花道が出来た。

「みんな、行こう！」

兵吾が声を掛けた。

「行くぞ、みんな」

隼斗も声を掛け、甲斐の後に続いて人垣の中を進んでいく。

こんなことがあるのか。

夢ではないのか。

兵吾に言われるまま、ひな壇に整列した隼斗たちは、いま自分たちを見つめる大応援団を前にしていた。

スタンドマイクの前に甲斐が立つと、歓声と拍手で盛り上がったいた体育館がすっと息を潜めるように静まり返った。

「ここにいる全員が、ひとつのチームだ」

甲斐の第一声に、さざ波のような拍手が応える。

「学生連合チームは決して寄せ集めの集団ではない」

甲斐は続けた。「ここにいるみんなの思いを背負い、大切な人のために走る。いままで一緒に練習し、努力し、信じてきたことのために戦う、ひとつのチームなんだ」

甲斐の言葉は、まるで隼斗の胸に突き刺さるかのようだった。甲斐は続ける。

「たしかに、このチームに伝統の重みはないかも知れない。経験もないだろう。しかし、箱根に対するこれだけ大勢の思いがある。関東学生連合は、箱根駅伝の本選を走るすべてのチームの中で、最大のチームだ。ここに集まってくれた皆の思いが、ひとつのタスキに宿る。ここにいる全員が同じチームの仲間だ。みんなの思いをひとつにして、箱根駅伝の本選に臨みたい」

入り口のドアが開き、大沼コーチが入ってきた。

両手に捧げ持っているのは、白地に赤の学生連合チームのタスキである。

そのタスキが待ち受けていた兵吾に手渡され、兵吾からその場にいる参加者に回された。

いま館内を埋めた仲間たちが整列し、その手から手へタスキがながっていく様を、隼斗は眺めていた。

それはまるで、神聖な儀式のように見える。

すすり泣くような声、ときに拍手、ときに「頑張れ！」という気合い、様々な思いを込められたタスキがやがて、ひな壇に並ぶ十六人の選手の前までつながり運ばれてくる。

「——隼斗。キャプテンから一言」

甲斐に促され、隼斗はマイクの前に立った。

「このチームにはずっとアゲンストの風が吹いていました。ぼくたちは、それと必死で戦ってきたんです。だけど、今日初めてわかったことがあります。ぼくたちにはこんなにも大勢の仲間がいた。皆のためにも、絶対に恥ずかしい戦いはたくありません。伝統も経験もないかも知れませんが、ぼくたちはもう怖じ気づくことも、気後れすることもありません。全力を尽くして——」

ふいに涙がこぼれ、握り締めているタスキにしみこんでいく。いま手にしているタスキに、ここにいる全員の思いや祈りが込められている。なんて重いんだろう。なんて尊いんだろう。

そのことがひしひしと伝わってくる。

「——隼斗、頑張れ！」

誰かが声を掛けてくれた。

「——全力を尽くして戦ってきます。ここにいるみんなのために」

隼斗は声を絞り出した。「だから——だから、ぼくたちのことを応援してください。よろしくお願いします！」

大きな拍手が、頭を下げた隼斗を包み込んだ。

何かが起きる。

そんな予感とともに、熱気は最高潮に達しようとしている。

伝統もなく、経験もない。

——だからなんだ。

このとき、隼斗ははじめて心からそう思えた。俺たちは戦える——そう信じられた。

隼斗から、隣にいた浩太にタスキが渡され、浩太から拓へ、拓から天馬へ。ひとりずつ、マイクの前に立ち、熱い思いを口にしていく。そのたび、チームメイトから激励が飛び、セレモニーは、最後のときを迎えようとしていた。

「それでは、区間エントリーを発表する」

ふたたびマイクの前に立った甲斐のひと言に、会場が静まり返った。

夢見心地で高揚していた気持ちだが、一気に現実に引き戻されたかのようだ。

「一区、諫山天馬」

意中の一区に指名され、天馬が小さくガッツポーズし、歓声が上がった。品川工業大学のチームメイトたちだろう。

「二区、村井大地」

やはり、大地か。

いま闘志を燃やす目で、大地が握り締めた右手を軽く挙げてみせた。このチームのエースとしての自覚が漲っている。

「三区、富岡周人」

素浪人、風の周人が、一歩前に進み出て頭を下げた。

「四区——」

自分の名前が呼ばれるはずだ——そう信じて、隼斗はまっすぐ前を見据える。だが、

「——内藤星也」

思いは外れ、微かな落胆を隼斗は感じた。先月、計図とふたり、四区を歩いたときのこと脳裏を過っていく。その計図がちらりと隼斗に視線を向けた。気の毒そうな、そして何か言いたげな視線だ。どうあれ、四区にエントリーされたのは、星也であり隼斗ではない。「頑張れ。星也」

悔しさを心の奥底に押し込み、隼斗は星也にいった。返ってきたのは、「どうも」、という相変わらずクールな反応だ。

甲斐の発表は続く。

「五区、倉科弾」

名前が呼ばれた瞬間、聴衆の一隅からもすごい歓声が上がった。山王大学はまだ箱根駅伝の本選に出場したことがない。本選に出るのは、弾が初めてなのだ。だが、底なしのスタミナの持ち主である弾こそ、五区の山上に選ばれるに相応しいと、誰もが認めているはずだ。

「ここまで往路。続いて復路」

ひと呼吸置いて、甲斐は続ける。「六区、猪又丈」

これも予想通りで、誰もが納得したに違いない。

この辺りから、隼斗は胸の奥にわさわさとした落ち着かないものを感じていた。

重なったのは、予選会の記憶だ。

明誠学院大学の名前が呼ばれることをひたすら待ちながら、ついになわなかつた悪夢——。

呼ばれるとすれば、もうひとつの区間候補である十区しかない。

「七区、桃山遥」

やったぞ、という声はどこかで上がった。東洋商科大のチームメイトたちだろう。だが、遥の走力を考えれば、選ばれるのは当然だ。

「八区、乃木圭介」

京成大のジャージを着た集団が、万歳を叫んだ。圭介は笑顔で前に進み出、「全力で走ります」、という言葉とともに腰を折る。

「九区——」

甲斐が新たな名を呼んだ。「松木浩太」

歓声が上がった。抱き合って喜んでいる者もいる。清和国际大学のチームメイトたちだ。隼斗が胸を打たれたのは、彼らがおそらくは北野には内緒でこの場にきているだろうことがわかってからだ。

裏エース区間の九区はたしかに、浩太の走力に相応しい。浩太は無言のまま、ぐっと唇を噛んでお辞儀をし、拳を握り締めていた。

そして、残すところ、あとひとり。

隼斗は、壇上からまっすぐに体育館のただっ広い空間を睨み付けた。

「十区——」

自分しかない。そう信じようとしたとたん、脳裏をまた、あの予選会の光景が過った。

明誠学院大学の名前が呼ばれることをチーム全員で祈ったあの光景だ。

「アンカーを務めるのは、やっぱりこの男だ」

甲斐はひと言付け加えて、名前を発表した。「——キャプテン、青葉隼斗」

館内から大歓声があがり、隼斗は天井を仰ぎ、静かに瞑目した。

腹の底から武者震いするほどの興奮がこみ上げてくる。

隼斗の前に、箱根駅伝本線——夢の舞台への門が、いま開かれたのだ。

## 【設問】

問一 傍線①～⑤の漢字をひらがなで記しなさい。

問二 二重傍線(イ)「化学反応」とありますが、それは、どういうことを指しているのでしょうか。

問三 二重傍線(ロ)「空の低いところに細い月が浮かんでいる」という情景描写からだれのどのような心情が読み取れますか。

問四 二重傍線(ハ)「なんて重いんだろう」とありますが、タスキが重いとは、どのようなことを指していますか。

問五 二重傍線(ニ)「アンカーを務めるのは、やっぱりこの男だ」という甲斐の言葉から、甲斐のどんな気持ちが読み取れますか。

【二】次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

【森 英樹】新版 主権者はきみだ【より】

かた苦しい饗宴や形式的なレセプションは願ひ下げだが、気心が知れた者同士が集まって、食事をしたり酒を飲むのは楽しい。これを若者や学生が安くわり勘でやると「コンパ」というが、この言葉は英語の company を語源にしてきた和製英語だ。だから「カンパニーをやる」と言っても、英語圏では通じない。

おとなのおじさんたちが呑み会をしようと、そんなカタカナにはならず「宴会」となる。宴会というと、なんとなく、畳の席で鍋か会席料理を肴に日本酒を飲み、そのうち下手な余興がとびだし、へべれけになってセクハラにおよんだり、ばか騒ぎしたりで、ダサダサの集まりのイメージが強い。

A、というわけか、そんな「ゲヒン」で乱れた宴席ではなく、食事もリッチで、上品な会話も楽しむ集まりを「パーティー」と呼び、コンパや宴会と区別することももある。B、party という英単語を辞書で引くと「宴会」と出てくるから、これは気やすめの言いかえにすぎない。

英語の party には、他に、「ある目的のために集まった一行・仲間」という意味もある。「登山パーティー」などというのがその典型だろう。これは山登りのチームのことであって、山頂で酒を飲むことではない。

親しい仲間同士の食事や酒席という意味でのパーティーも、こうした「こころざしを同じくする私的な集まり」という意味がこめられてきた。party が part、つまり「部分」を語源にしているのは、だれでもかれでもではなく、そのうちの「一部分」が集まることを表している。

party にはもうひとつ「政党」という意味があるが、このような語源的探索を重ねていくと、政党も「こころざしを同じくする者の集まり」だという本来の性格が見えてくる。

同じこころざしをいだく者が集まると「集会」だし、それが組織化されると「結社」になる。憲法は、人々のこうした社会的行動を「表現の自由」としてまとめ、基本的人権のひとつに教えた。憲法第二一条一項が「集会・結社」を例に出しながら「一切の表現の自由」を「ホシヨウ」しているのは、そういう意味である。だから政党も結社のひとつであり、国民が社会生活の中で使う自由にくまられる。サークルやクラブや同好会と政党との間に、この点で本質的なちがいはない。

だが、「政党」というと、日本では、国会とか選挙とかいったとてもかた苦しいところに登場してくるだけで、日常生活のなかのサークルと同じという「インシヨウ」はなかなかもてない。国民代表として選んだ国会議員も、国会が選ぶ首相も、その首相が選ぶ「カクリヨウ」も、そのほとんどは、どこかの政党の党員である。国民から見ると政党は、政治を行なうプロ集団であって、ふつうの国民とはいささか以上に異なる別世界の人々のように思える。だから政党のメンバーであることは、自民党であれ共産党であれ、とても風変わりなことで、「もの好きな人」あるいは「思想的な人」となる。だがこれは、政治や政党を「お上」のこと、むずかしいことにしてきた日本の政治風土や政治構造の結果にすぎない。

国民主権を早くから成立させてきた欧米では、政党もまた社会の中にあつて、市民のだけれもがそのメンバーになったり、気楽につきあつたりするサークルやクラブのようなものと考えられている。C、コンパやパーティーのように政党の集いを開き、党員・支持者や関心のある人がかけていってわいわいと議論する。アメリカ大統領選挙の予備選挙や本選挙で見せるあのお祭り騒ぎは、いかにも陽気なアメリカ人らしいが、政治がパーティーであることを示す好例でもある。ドイツでは小さな村でもビアホールで政党集

会が開かれ、集まった支持者や批判者が、好きな飲物とつまみを自分の金で注文して、わいわいやつていた。D、特

こういう政治風土であれば、政党の党員であること、ある政党を支持して活動することは、日常生活の一部となり、異なることではない。むしろ政党やその政治的思考に関心を示さない人は、ものごとをあまり考えていない人として、その社会性が問われる。自分の考えにあわない政党ばかりだと、いらだちはするが、だからといって政治や政党に無関心になるわけではない。

E 日本の政治や政党の「ジツタイ」はどうだろう。政界再編とやらで、ほとんどの政党が変身を重ね、かなりの議員がその所属政党を変える。再編、再々編の途中だからと同情しても、ころころと政党を渡り歩く政治家を見ると、どこに「こころざし」があるのか、と思う。一枚数万円もするチケットを買わせて金集めのパーティーをするから政党さ、では、しゃれにもならない。

親しい仲間のパーティーは楽しい。その延長戦で政党というパーティーもあれば、政治もまた楽しい日常問題になる。そんな政治にする「政治改革」でありたい。



【設問】

問一 ①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線(ア)～(オ)の漢字をひらがなで記しなさい。

問三 A～Eの  に当てはまる言葉を左記から選び、その番号を書きなさい。

- ① しかし
- ② けつして
- ③ だから
- ④ ひるがえって
- ⑤ そこで

問四 波線~~~~①～⑩の品詞を書きなさい。

問五 英語のパーティーという言葉の意味には、「宴会」以外にどのような意味がありますか。2つ書きなさい。

問六 「集会」と「結社」の違いは何ですか。

問七 集会・結社の自由は、憲法のどこに規定されていますか。

問八 日本と欧米では、「政党」のとらえ方に違いがあります。どのような違いがありますか。

【三】 次の問いに答えなさい。

【設問】

問一 次の作家の作品を後から選んで番号を書きなさい。

- |             |            |            |            |
|-------------|------------|------------|------------|
| A 芥川龍之介 ( ) | B 夏目漱石 ( ) | C 森鷗外 ( )  | D 宮沢賢治 ( ) |
| E 樋口一葉 ( )  | F 太宰治 ( )  | G 島崎藤村 ( ) | H 新美南吉 ( ) |
| ① 一握の砂      | ② にごりえ     | ③ 舞姫       | ④ 蜘蛛の糸     |
| ⑤ 走れメロス     | ⑥ こころ      | ⑦ 風の又三郎    | ⑧ 城之崎にて    |
| ⑨ どんざつね     | ⑩ 破戒       |            |            |

問二 それぞれの文に当てはまる同音異義語を選んで、その記号を書きなさい。

- |                         |                        |                         |
|-------------------------|------------------------|-------------------------|
| A                       | B                      | C                       |
| ① この図形は左右 ( ) だ。        | ① 野球の試合に参加の ( ) を表示する。 | ① 目的達成した宇宙船が地球へ ( ) する。 |
| ② 私と妹は ( ) 的な性格だ。       | ② 目標を達成しようと強い ( ) を持つ。 | ② ユニセフは国連の ( ) だ。       |
| ③ 高校生を ( ) としたアンケートである。 | ③ 父の ( ) を継ぐため、教師になった。 | ③ ( ) の雑誌を取り寄せる。        |
|                         | (a 対照 b 対象 c 対称)       | (a 意思 b 遺志 c 意志)        |
|                         | (a 対照 b 対象 c 対称)       | (a 機関 b 帰還 c 季刊)        |

問三 次の言葉の対義語を書きなさい。

- ① 消費
- ② 能動
- ③ 必然
- ④ 納入
- ⑤ 保守

問四 □の中に当てはまる漢字を書きなさい。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ① 我□引水 | ② 奇□天外 | ③ 大□晚成 |
| ④ 本末□倒 | ⑤ 頑固□徹 |        |
| ⑥ 音信□通 | ⑦ 日進月□ | ⑧ 天□孤独 |
| ⑨ 厚顔□恥 | ⑩ 公私□同 |        |